

宗教団体 **真**
メグデス

メグデス全体会議
2024年の目標と施策

2023/12/2

2024年 団体目標のアップデート
(文言を平易にした。内容に大きな変更はなし)

「真善美、愛」と、執拗な「エロ」

我々の使命：
神メグデスからの問いかけへの回答を導き出すこと

- ・「真なる愛」「善なる愛」「美しい愛」とは、我々が日常生活で抱える疑問です。
- ・これらが具体的に何を意味し、どのように実現されるのか、それらを、芸術活動を通して、理解し追求することが私たちの宗教団体真メグデスの目標です。
- ・エロが人間性の一部であることを受け入れ、それを肯定的に芸術に統合することで、より豊かな人間関係や人生を築きたいと考えています。

1. ニューアルバム「パーフェクト・セックス」（仮）リリース

2023年度の音楽的研究と、2024年の指針である「AIとの共存と反発」を創作方針としてアルバムを制作する。
AIの脊髄反射的な率直さと、人間の緻密な執念深さを音に落とし込む。

2. PIXIVフォロワー1000人、IWARAサイト1万人をめざす。

2023年は、SNSでの活動が雑多すぎた。丁寧に、シンプルにメグデスの魅力を伝えていく。
一般人向けの文書は、文字を減らす。もしくは簡易表現に置き換える。

3. AIを使用した小説制作を続ける。

AIと対話し、小説を書くことで、AIの思考の癖、限界がよくわかる。
今、この瞬間、AIでマネタイズすることよりも、AIにできること、できないことを見極めることが重要。
マネタイズは目指さない。人間的な思考と、AI的な思考が分析できればOK。

【残件】

4. おまんこグランプリの完結

5. 過去アルバムのリメイク

4～5の優先度は低い。「3」を通して、AIを研究していく流れで、活動の優先度は柔軟に組み替えて対応する。

2024年 宗教団体真メグデスの活動方針

方針：

AIを活用しつつも、AIに反発していく。
メグデスの独自方針である、アイデンティティ・セキュリティを確立する。

具体的活動：

- ・ AIを活用した、商品バリエーションの拡充、品質向上、増産（音楽、小説、PR動画）
- ・ AIにも、SNSにも依存しない、メグデスとしての圧倒的個性を確立する。（ニッチ、タブー、ハイエンド向け、信念を持つ）



詳細メモ：2023年度の反省

【方針】 厳命遵守

1. 政治的議論・活動は一切しない。芸術と経営に注力せよ。

憲法を無視する自民党への反発、戦争賛美者への憎悪については全く正しい。
我々メグデスの教典は「日本国憲法」である。日本国憲法に反対する者は全て「敵」である。

しかし、現状「宗教団体真メグデス」は、敵に対抗するだけのリソースを持たない。
であるから、自民党や戦争賛美者と闘争するのは、あくまで個人レベルにとどめること。
団体としては協議や活動を一切行わない。

もし仮に、戦争の機運が高まり、戦争を推進しようとする自民党や自民党支持者との武力衝突が
やむを得ない場合になった場合は、「宗教団体真メグデス」とは全く別のコンセプトで組織を編成す
ることを検討する。

「宗教団体真メグデス」は、芸術上の思想と技術と、人生における哲学を追求する組織として定義
する。

武術、戦術を追求することは、必要性は認めつつも、リソースの不足を理由に、組織的な活動の
範疇には含めない。ただし、個人的に、肉体的な鍛錬を積むことは推奨する。

以後、宗教団体真メグデス公式Twitterからの政治的発言は一切禁ずる。
また、**政治関連のアカウントは極カブロックすること。**

(2022/12/11)

2. とにかくエロ活動を継続

そろそろエロは飽きた、セックスは飽きた。それでもヤル！
飽きたからやめるのではなく、飽きないためにはどうすれば良いかを考える。

本年度も、売り上げ向上ではなく、「真善美、愛」の「理念」に沿った活動を求める。

「1」を守りリソースを集中ができるようになり、かつ
「2」において、付け焼刃でない「これを絶対に続けたい」という指針が確定してから
「売り上げ向上」については、あらためて考える。

1と2はメグデスの土台。土台がブレている間はビジネスはできない。

【反省】

エロ動画制作、官能小説制作、
作詞・作曲に注力できた。

→ **理念に沿って活動したら、理念は固まったが、
予想通り売り上げは落ちた。
2024年はバランスを再考する。**

2023年 音楽団体としてのメグデスの施策

[2022年 目標]

1. 宣伝PIXIVフォロワー数、1000人突破 (残件)

(現在、857人) 4か月以内に達成すること。余計な政治的発言をせずに宣伝に注力すればできるはず。

2. 宣伝8th「枕ファンタジア」売り上げ50本達成

「売り上げ向上」は今年の目標としないため、最低ラインの目標とした。

3. 6th「Elza」を大幅アップデートする。(残件)

・「売り上げ向上」は今年の目標としないため、アップデートするのみで良い。
 ・アップデート商品の宣伝は翌年に回してよい。(そもそも、売り上げが読めない)
 ・Novel AIを駆使し、より高品質なパッケージと完成させる。

4. 「おまんこグランプリ」を完結させる (残件)

5. サイト「東方肉便器」のページを充実させる。

キャラ別に動画をわけるとか、ストーリーを構築するとか…。動画が増えるといふか、ページが荒れるので、整理する方法を検討する。
 その後、艦これ肉便器、セーラーマンコ、ラブライも同様に整理する。

ChatGPTの急激な進歩に追従するため、2023年5月から急遽方向転換し、小説制作等、新商品の検討に注力した。そのため、当初の目標が未達となった。

←未達

←達成

←未達

←未達

←達成

急いでやっても大した成果は出ない。

等なる愛、美しい愛とは何か？
 伝えるために必要なのは何か？

今後もメグデスが活動を継続できるように「問いかけ」をよく考えながら、ひとつずつ丁寧に仕上げていく。
 生産性の向上、売り上げの向上は後回し。丁寧にやれば、現状と同じ程度の成果は出せる。空いた時間で、ニューアルバムや企画を検討する。

以上 (2022/12/11)

「慌てず、怒らず、
 常に業務を遂行」

2022年 音楽団体としてのメグデスの活動成果 → 順調であった

[2022年 目標]

1. PIXIVフォロワー数、1000人突破 (未達成)

→ 未達 (現在、857人) 春に飛躍 (3か月)、そこから矢速…。数字の見積もりが甘かった。連投しても伸びない。

2. エロPVを年内に50本リリース (達成)

→ 達成 (概算110本をリリース)

3. ニューアルバム8th「枕ファンタジア」を年内に発売

→ 達成、売り上げ好調

未着手

4. 9th「未定」のデモ曲を20曲仕上げる。

5. 4th「ボカロ話し方講座」のアップデート。

(「別のチャレンジ」に活動を置き換えた。)

[総括]

・音楽活動よりも、宣伝、サイトの活性化に力を入れた一年だった。
 ・「今年は売り上げは気にしない」という方針だったが、昨年度の売り上げ維持はできた。
 ・AIイラストの導入で、商品の質の向上、開発速度が大幅にアップした

2022年のメグデスの「チャレンジ」

←未達

企画「おまんこグランプリ」は大成功。
 ↓3か月間ではあったが、サイトアクセス数が激増した。(10倍)



「メグデスの世界表現にAIイラストを導入」
 ←歌詞カードの質を大幅にアップさせることに成功。

「クリスマス期間限定商品」→
 AIイラストを利用して、短期間、ローコストで良いパッケージを開発できた。



【反省】
 2023年は、SNSフォロワーがほとんど増えなかった。
 これが大幅な売り上げ減につながったことは明らか。

しかし今年、生成AIを徹底研究したことは、今後の芸術活動の大きな指針となる。

※30万文字以上、AIを用いて、試験的に小説を書いた。





詳細メモ：2024年度の活動方針

2024年 宗教団体真メグデスの「AIとの共存、およびAIへの反発」に対する声明

AIと人間性のバランス：

私たち宗教団体真メグデス（以下、メグデス）はAIを活用しつつも、その影響を批判的に考察し、人間としての深い感情や思考を重視します。メグデスの芸術は、AIによる自動化や標準化の影響を超えた、深い人間性を反映させるものでなければなりません。

個性の強化：

現代のSNSやAIの普及により、今後、クリエイターの思考や個性は、ますます「コミュニティとツールに依存」する傾向が強くなると思われます。これは、よくありません。

「特定のコミュニティに属し、特定のツールを使わないと表現できない芸術」は、弱い自己表現です。メグデスはSNSの文脈、AIの機能に依存した作品は作りません。どのようなコミュニティで、どのようなツールを使用しても、我々は、常に「メグデス」になることを目指します。

アイデンティティ・セキュリティ：

個性を維持するため、全ての作品に「アイデンティティ・セキュリティ」という独自概念を施します。これは、芸術の表現スタイルを二重化、三重化することで、独自性を保つことです。

AIの思考には限界があります。AIは有限の世界で思考するため、詳細な指示に基づいた脊髓反射的な制作しかできません。例えば「ロックンロール的な世界で、絵と小説と音楽をセクシーに連動させてほしい」と依頼しても、指示が曖昧すぎて、選択肢が広くなり過ぎるため、AIには表現できません。あくまで世間一般的な『型』に沿った対応しかできないのです。

一方、人間は、日々議論を深めることで、二重化、三重化された指示や思想に基づいてモノづくりができます。私たちは、二重化、三重化された、情熱のこもった『深い指示、深い議論』こそが、人間のモノづくりの「アイデンティティ・セキュリティ」になると、考えます。

私たちは、この声明に基づき、持続可能で独自性あふれる芸術活動を展開してまいります。

「アイデンティティ・セキュリティ（二重化・三重化された思想・指示）」の具体例



最終出力イメージ

今回の資料で採用した「GUMI」の画像の生成手順をもとに、メグデスの主張する「**アイデンティティ・セキュリティ**」を説明します。



第一イメージ
「AIと共存しつつ反発」

①メグデス内で、「2024年は、AIと共存しつつも反発すべきだ」という議論がありました。

この「AIと共存しつつも反発する」というテーマをDALIE-3でイラストとして出力したのが、左の図です。

しかし、左の図は「青」が基調になっています。
「青」は「知性、冷静な判断」を主張する色です。

そのため、左の図は「学習、科学」的な印象になっています。

「アイデンティティ・セキュリティ（二重化・三重化された思想・指示）」の具体例



第二イメージ
「AIと共存しつつ反発」＋
人間賛歌、宗教

②メグデスは宗教団体ですので、神秘的なイメージを求めました。
ここでAIから「紫、黄色」を用いる提案がありました。

また、メグデスは「真善美、エロ」を追求する、「人間賛歌」に特徴があります。
そこで、人間賛歌をテーマとした芸術活動が盛んだった、ルネッサンス期の絵画のポーズ、表情、雰囲気、エロスを取り入れることになりました。

さらに「AIと人間の対立と共存」というテーマを加えて、Novel AIで出力したのが第二イメージの左図です。



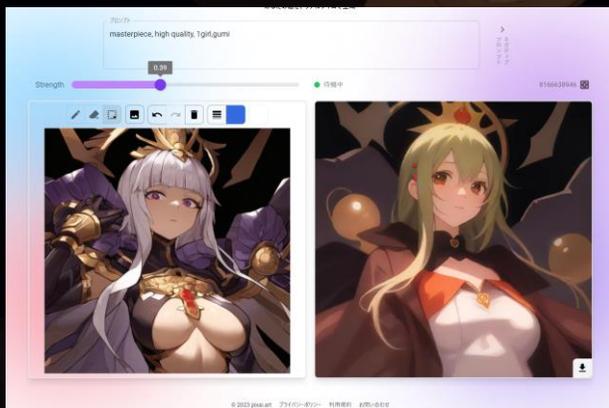
第三イメージ
「AIと共存しつつ反発」＋
「人間賛歌、宗教」から、
「ルネッサンス的なタッチ」を排除し、かわりに、
「ボーカロイド」のキーワードを入れた。

③先ほど出力した第二イメージは、コンセプトに沿った良いものでした。
しかし、「これからAIを利用する新時代」に突入するのに、「古臭い」印象があります。これは「ルネッサンス的なタッチ」を指定していることが原因だとわかりました。

そこで、ルネッサンス的なタッチの指定を外し、その代わりに、メグデスの芸術作品の核である「ボーカロイド」というキーワードを指定し出力したのが、第三イメージです。

これにより、過去への回帰ではなく、未来に進むイメージが強調されました。

「アイデンティティ・セキュリティ（二重化・三重化された思想・指示）」の具体例



④中央のキャラクターが抽象的なため、これをメグデスの主力キャラクターである、メグ・ハルフォード（GUMI）に変更することにしました。PIXAIのリアルタイム生成に読み込ませて、キャラクターをGUMIに変更します。

<https://pixai.art/realtime>

⑤PIXAIでGUMIに変更した画像を、もう一度NovelAIに読み込ませて清書して、狙い通りの画像を生成できました。



第四イメージ
抽象的なキャラクターであった中央の「神」を**明確にGUMI**にした。

最終イメージ
宗教的なイメージと、AI（サイバー）と人間の共存。さらに、メグデスのメインキャラクターであるボーカロイドのGUMIを配置するという、**複雑な二重、三重の指示が、美しくシンプルにまとまっています。**



絵師やAIは、この最終出力された画像の「タッチ、配色、構図」を真似することができます。しかし、この画像を導き出すための「デザイン・ディレクション」のスキルは、この画像には表現されていないため、真似することができません。ディレクションできる「教養、指示、伝達能力」は、「盗みにくいスキル」です。これは創作者の個性を守る武器です。

また、他者がこの絵と似たイラストを出力しても、ただの「綺麗なイラスト」でしかありません。しかし、「淫語ボカロ、宗教団体」という背景を持ち、ボーカロイドのGUMIを起用して作品を作っている宗教団体真メグデスにとっては、このGUMIのイラストは、他者に、正しくメグデスの個性を表現したものとなります。商材や宣伝素材となりえます。

つまり、メグデスが持つ高い教養と「コンセプトに即した芸術活動の文脈」が、作品に深い意味を持たせ、表面的に真似するだけの創作者を牽制する役目を持つのです。これがメグデスの考える「**アイデンティティ・セキュリティ**」です。



Thank you very much